

とちぎ夢大地応援団(11月1日実施)

～ ミカンと柚の里那須烏山市国見の棚田保全活動～

那須烏山市那珂川の左岸に位置する国見地区は日本のミカン生産の北限地として有名な中山間地域です。

そしてその山間に点在する棚田は、日本の棚田100選にも選ばれた美しい地域です。しかしながら高齢化と少子化の波により、周辺斜面林の下草刈りが出来ない状況が続き、このままで行くと棚田そのものの維持も困難な状況にありました。

そこで平成17年度から「夢大地応援団」活動に応募し、宇都宮大学の学生さんを中心に活動が展開されてきました。

今年も宇都宮大学、NPO 法人ナルクの方々を中心に約30名のボランティアと地元国見自治会及び棚田保全組合の皆さん及び地元女性会の皆さん等々約50名の参加で盛況に開催されました。

今年初めての試み「地域通貨券」

受付時に配布



棚田全景

北斜面の急傾斜



皆さんの力は絶大です



宇都宮大学の学生諸君



ナルクの方々です



市長さんも駆けつけて



賄いをしてくれた女性会の方々



地域通貨は 100 みかん券 1枚で「すいとん 1杯」ですが・・・何杯もお代わりした人も・・・いたとかいないとか。

きれいになった棚田をバックに



交流会のあとで 全員集合



**皆さんの力が結集して地域の方もそして参加者も元気をもらいました。
来年も再び参加しましょう。「すいとうまかったです」**

